

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月14日

**【四半期会計期間】** 第44期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 株式会社オーイズミ

**【英訳名】** OIZUMI Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大泉政治

**【本店の所在の場所】** 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

**【電話番号】** (046)297 - 2111(代)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 前田信夫

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

**【電話番号】** (046)297 - 2111(代)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 前田信夫

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第43期 第2四半期 連結累計期間		第44期 第2四半期 連結累計期間		第43期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		5,555,269		3,810,964		11,531,561
経常利益	(千円)		592,004		290,174		809,604
四半期(当期)純利益	(千円)		303,478		155,361		510,100
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		204,773		128,881		428,099
純資産額	(千円)		11,365,128		11,649,831		11,588,438
総資産額	(千円)		22,275,079		20,210,087		20,760,683
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		13.49		6.91		22.68
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		51.0		57.6		55.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,554,280		576,865		1,463,286
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,803,645		67,870		1,220,125
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,657,061		257,365		909,689
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		4,542,888		3,969,807		4,357,177

回次		第43期 第2四半期 連結会計期間		第44期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		6.73		5.65

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 第43期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高3,810百万円（前年同期比31.4%減）、経常利益290百万円（前年同期比51.0%減）、四半期純利益155百万円（前年同期比48.8%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (機器事業)

機器事業につきましては、当第2四半期連結累計期間は売上高3,504百万円（前年同期比34.0%減）、セグメント利益288百万円（前年同期比57.3%減）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業につきましては、当第2四半期連結累計期間は売上高322百万円（前年同期比25.8%増）、セグメント利益234百万円（前年同期比64.1%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成23年3月31日）に比べ550百万円減少し、20,210百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、9,552百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少（387百万円減）、受取手形及び売掛金の減少（128百万円減）、仕掛品の減少（394百万円減）の一方で、原材料の増加（352百万円増）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、10,657百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減価償却等による減少（64百万円減）、投資有価証券の減少（16百万円減）の一方で、有形固定資産その他（純額）に含まれる工具器具及び備品の増加（18百万円増）、投資その他の資産のその他に含まれる長期貸付金の増加（21百万円増）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ611百万円減少し、8,560百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（624百万円減）、未払法人税等の減少（287百万円減）の一方で、長期借入金の増加（324百万円増）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、11,649百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（87百万円増）の一方で、その他有価証券評価差額金の減少（26百万円減）によるものです。

この結果、自己資本比率は57.6%と前連結会計年度末に比べ1.8ポイント増加しました。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動による576百万円の支出、投資活動による67百万円の支出、及び財務活動による257百万円の収入となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ387百万円減少し、3,969百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は576百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益290百万円の計上、減価償却103百万円の実施、売上債権の減少299百万円がある一方で、仕入債務の減少642百万円、その他に含まれる前渡金の増加148百万円、法人税等の支払額399百万円があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は67百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出34百万円、貸付による支出30百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は257百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入1,100百万円の資金取得がある一方で、長期借入金の返済775百万円、並びに配当金の支払が67百万円があったことによるものです。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は272百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### (6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

### (7) 生産、受注及び販売の実績

#### 生産実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における遊技機（パチスロ機）等の生産が著しく減少しております。

これは、販売台数の減少に伴うものであります。

なお、不動産事業は生産活動を行っておりません。

#### 受注実績

当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っております。当第2四半期連結累計期間において、遊技場のパチスロ機設置台数の増加に伴い、パチスロ関連システム機器等の受注高が増加しております。

なお、不動産事業は受注活動を行っておりません。

#### 販売実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における遊技機（パチスロ機）等の販売が著しく減少しております。

( 8 ) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	22,500,000	22,500,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)オーイズミホールディングス	神奈川県伊勢原市伊勢原2-5-43	10,420	46.31
大泉秀治	神奈川県厚木市	3,126	13.90
大泉政治	神奈川県厚木市	1,075	4.78
大泉賢治	神奈川県厚木市	678	3.02
田澤路子	神奈川県伊勢原市	485	2.16
オーイズミ従業員持株会	神奈川県厚木市中町2-7-10	430	1.91
日本トラスティ・サービス信託 銀行(株)	東京都中央区晴海1-8-11	308	1.37
田中秀雄	横浜市鶴見区	300	1.33
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	300	1.33
オーイズミ取引先持株会	神奈川県厚木市中町2-7-10	260	1.16
計		17,385	77.27

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,900		
完全議決権株式(その他)	22,469,200	224,692	
単元未満株式	普通株式 26,900		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,692	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市中町 2-7-10	3,900		3,900	0.0
計		3,900		3,900	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,357,177	3,969,807
受取手形及び売掛金	1,795,312	1,666,570
有価証券	10,000	-
商品及び製品	571,769	608,807
仕掛品	937,426	543,135
原材料	1,645,438	1,998,167
繰延税金資産	111,524	95,610
その他	645,668	678,438
貸倒引当金	9,055	7,735
流動資産合計	10,065,262	9,552,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,358,851	2,294,395
土地	6,697,388	6,697,388
その他(純額)	124,951	141,405
有形固定資産合計	9,181,191	9,133,190
無形固定資産	14,386	14,198
投資その他の資産		
投資有価証券	974,443	958,162
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	17,784	17,585
その他	614,315	653,047
貸倒引当金	206,700	218,900
投資その他の資産合計	1,499,843	1,509,895
固定資産合計	10,695,421	10,657,284
資産合計	20,760,683	20,210,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,366,252	1,741,874
1年内返済予定の長期借入金	1,308,370	1,184,596
未払法人税等	411,586	123,796
賞与引当金	42,900	42,600
製品保証引当金	16,000	15,000
その他	223,470	200,750
流動負債合計	4,368,580	3,308,617
固定負債		
長期借入金	3,513,514	3,962,068
繰延税金負債	12,000	11,400
退職給付引当金	20,447	22,782
役員退職慰労引当金	424,945	429,902
負ののれん	6,909	5,374
資産除去債務	58,907	59,471
その他	766,939	760,640
固定負債合計	4,803,665	5,251,638
負債合計	9,172,245	8,560,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	10,106,603	10,194,477
自己株式	3,862	3,862
株主資本合計	11,783,341	11,871,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,903	221,383
その他の包括利益累計額合計	194,903	221,383
純資産合計	11,588,438	11,649,831
負債純資産合計	20,760,683	20,210,087

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,555,269	3,810,964
売上原価	4,136,011	2,813,602
売上総利益	1,419,258	997,361
販売費及び一般管理費		
販売促進費	164,273	96,663
役員報酬	95,606	92,329
給料手当及び賞与	99,769	91,033
賞与引当金繰入額	35,637	21,042
退職給付費用	12,524	14,039
役員退職慰労引当金繰入額	4,835	4,956
その他	409,337	386,082
販売費及び一般管理費合計	821,984	706,149
営業利益	597,273	291,212
営業外収益		
受取利息	674	898
受取配当金	10,519	10,424
その他	11,193	11,202
営業外収益合計	22,387	22,524
営業外費用		
支払利息	27,547	23,407
その他	109	156
営業外費用合計	27,656	23,563
経常利益	592,004	290,174
特別利益		
固定資産売却益	60	-
貸倒引当金戻入額	7,000	-
特別利益合計	7,060	-
特別損失		
固定資産除却損	52	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,865	-
特別損失合計	24,918	-
税金等調整前四半期純利益	574,146	290,174
法人税、住民税及び事業税	299,839	119,300
法人税等調整額	29,171	15,512
法人税等合計	270,668	134,812
少数株主損益調整前四半期純利益	303,478	155,361
四半期純利益	303,478	155,361

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	303,478	155,361
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	98,705	26,480
その他の包括利益合計	98,705	26,480
四半期包括利益	204,773	128,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,773	128,881

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	574,146	290,174
減価償却費	109,147	103,255
貸倒引当金の増減額（は減少）	7,000	10,880
製品保証引当金の増減額（は減少）	8,500	1,000
賞与引当金の増減額（は減少）	40,500	300
退職給付引当金の増減額（は減少）	2,147	2,334
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	4,835	4,956
受取利息及び受取配当金	11,193	11,322
支払利息	27,547	23,407
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,865	-
売上債権の増減額（は増加）	375,548	299,872
たな卸資産の増減額（は増加）	77,689	4,523
仕入債務の増減額（は減少）	1,150,847	642,548
その他	12,640	249,518
小計	1,639,125	165,284
利息及び配当金の受取額	11,193	11,322
利息の支払額	27,708	23,612
法人税等の支払額	68,331	399,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,554,280	576,865
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	1,261,573	34,685
有形固定資産の売却による収入	142	-
貸付けによる支出	-	30,300
貸付金の回収による収入	50,220	2,685
子会社株式の取得による支出	50,000	10,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	2 535,411	2 -
その他	7,022	5,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,803,645	67,870
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,380,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	655,031	775,220
自己株式の取得による支出	26	-
配当金の支払額	67,881	67,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,657,061	257,365
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,407,696	387,369
現金及び現金同等物の期首残高	3,135,192	4,357,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,542,888	1 3,969,807

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 4,542,888千円 預入期間が3か月超の定期預金 千円 現金及び現金同等物 <u>4,542,888千円</u>	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 3,969,807千円 預入期間が3か月超の定期預金 千円 現金及び現金同等物 <u>3,969,807千円</u>
2 株式等の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳 株式等の取得により新たに連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式等の取得価額と取得のための支出との関係は次のとおりであります。 流動資産 781,863千円 固定資産 188,159千円 のれん 325,007千円 流動負債 691,168千円 固定負債 22,845千円 当該会社の支配獲得時の取得価額 581,017千円 当該会社の現金及び現金同等物 45,605千円 差引：連結範囲の変更に伴う子会社株式等の取得による支出 535,411千円	2

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	67,488	3	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	67,488	3	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	アニメーション関連事業	計	調整額	合計
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,309,974	245,295		5,555,269		5,555,269
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		11,181		11,181	11,181	
計	5,309,974	256,476		5,566,450	11,181	5,555,269
セグメント利益	675,576	142,653		818,229	220,956	597,273

(注) 1 セグメント利益の調整額 220,956千円は、親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 アニメーション関連事業は、事業の主体である株式会社アニメインターナショナルカンパニーの株式等取得が平成22年9月30日であったため、当第2四半期連結累計期間では売上高及び利益等は発生しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額	合計
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	3,504,585	306,378	3,810,964		3,810,964
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		16,213	16,213	16,213	
計	3,504,585	322,592	3,827,177	16,213	3,810,964
セグメント利益	288,606	234,041	522,648	231,435	291,212

(注) 1 セグメント利益の調整額 231,435千円は、親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円49銭	6円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	303,478	155,361
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	303,478	155,361
普通株式の期中平均株式数(株)	22,496,163	22,496,029

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

事業用土地賃貸借契約により賃貸しておりました土地(所在地:静岡県浜松市東区安新町105番地1外宅地面積:5,599.43㎡)に関し契約期間満了(平成23年9月30日)にあたり、賃借人が当該土地に設置した商業用建物を無償残置することとなり、当該建物の不動産鑑定士による鑑定評価に基づいた建物取得額(延床面積:3,142.93㎡取得額103百万円)を平成23年10月1日をもって固定資産に計上し、この取得に伴って発生した受贈益103百万円を特別利益に計上いたしました。

なお、当該物件は平成23年10月より新賃借人への賃貸を開始しております。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

株式会社オーイズミ  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 市川 一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内野 福道 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。